

科目名 Course Name	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ Social Work Theory and Methods (Expert) Ⅱ			ナンバリング No.	I4-002		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本講では、ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱを踏まえ、社会福祉士として専門的に学ぶ内容を具体的に深めていく。将来、相談援助の場面において、利用者への的確な支援ができる知識と技術の定着を目指す。</p> <p>①実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を説明できるようにする。 ②ニーズ掘り起こしを行うための、知識と技術について学び、その過程を構築することができるようにする。 ③個別事例研究・事例分析の方法を示すことができるようにする。 ④事例の具体的な解決策及び事例の共通性や一般性を見出すための事例分析の意義や方法を活用することができるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、グループワークやディスカッションを取り入れる。						
学習成果	L01						
	L02	仮に設定した援助場でソーシャルワークの知識・技術を活用できる。					
	L03	事例分析の意義や方法を活用することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	授業終了後の C-Learning にリアクションを入力させ理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/参考図書	教科書:「ソーシャルワークの理論と方法(専門)」弘文堂						
履修上の留意点やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。		30	40	
その他					
合計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成(コミュニケーションとラポール)
	事前・事後学習	事前:シラバスを確認しておく 事後:ラポール形成について、授業を振り返り、資料に補足しておく
2	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成/面接技術①(面接の意義、目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	テキスト2章の2を読み、わからない漢字や専門用語等を調べておく
3	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成/面接技術②(面接の場面と構造、面接の技法)
	事前・事後学習	経験した面接場面を思い出し、構造と技法を分析する
4	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成/アウトリーチ①(アウトリーチの意義、目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	テキストP82の事例を読み、アウトリーチのイメージをつくる。
5	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成/アウトリーチ②(アウトリーチを必要とする対象、ニーズの掘り起こし)
	事前・事後学習	アウトリーチに関する事例課題に取り組む
6	授業内容	ソーシャルワークにおける援助関係の形成/アウトリーチの実際 外部講師:大山裕明氏(佐野市教育委員会SSW)
	事前・事後学習	事前:前回までの授業資料を読み、アウトリーチの技法について復習をしておく 事後:感想レポートを作成する。
7	授業内容	カンファレンス/カンファレンスの意義、目的、留意点、運営と展開
	事前・事後学習	事前:テキスト5章を読み、わからない漢字や専門用語等を調べておく 事後:カンファレンスの配布事例を読み込んでおく
8	授業内容	ネットワークの形成①(ネットワーキングの意義、目的、方法、留意点、セーフティネットの構築とネットワーキング、家族、住民、サービス提供者間のネットワーキング)
	事前・事後学習	テキスト3章1を読み、わからない漢字や専門用語等を調べておく
9	授業内容	ネットワークの形成②(重層的な範囲、マイクロ・メゾ・マクロ、多様な分野の支援機関)
	事前・事後学習	P62 図4-1を確認し、自分が担うことができる役割について考察する
10	授業内容	ネットワークの形成③コーディネーションの意義、目的、方法、留意点
	事前・事後学習	テキスト3章の2を読み、わからない漢字や専門用語等を調べておく
11	授業内容	事例分析①事例分析の意義、目的②事例検討、事例研究の意義、目的、方法、留意点
	事前・事後学習	事前:テキスト6章の扉ページを読んでおく 事後:事例検討、事例研究
12	授業内容	ソーシャルワークにおける総合的かつ包括的な支援の実際
	事前・事後学習	事前:第1章の1を読んでおく。 事後:授業で取り上げた事例検討の見直しをする。
13	授業内容	地域支援の実際①(地域が抱える課題、多機関協働)
	事前・事後学習	事前:第1章の3を読んでおく。 事後:授業を踏まえ、地域独自の取り組みを検索し、まとめておく。
14	授業内容	地域支援の実際②(地域住民との協働、地域アセスメント)
	事前・事後学習	事前:地域独自の取り組みを検索し、まとめておく。 事後:居住地の地域アセスメントを実施する。
15	授業内容	非常時や災害時支援の実際(災害時の生活課題、支援の目的、方法、留意点)
	事前・事後学習	事前:テキスト第1章4を読み、わからない漢字や専門用語等を調べておく 事後:試験勉強